

令和2年度 第二中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

	実施方針	目標	具体的な取り組み	
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	関係機関と地域課題・自立促進要因を整理・抽出する場を設けます。	行政・生活支援コーディネーター・地域包括支援センターとで「地域づくり連絡会」を開催する。定期的に地域の状況を共有する場を持ち、地域に働きかけるため共同で取り組む。	年4回：6月・8月・10月・12月 場所：保健福祉センターはなみずき又は社会福祉協議会
			しまトシの出前講座を実施し、地域へ介護予防意識の向上を促進する。	新規立ち上げ：旭町（9月）・千葉（11月）
		高齢者が地域で介護予防や自助を促進できるように支援します。	地域の課題を地域づくりや政策形成に結びつけていくために地域ケア会議を開催する。 重点テーマ 「独居や高齢世帯向けに『あんしんカード』を作成し、緊急時の連絡先や状況が分かるように緊急時でも速やかに連絡が取れる体制を作る。」	独居・高齢世帯の緊急時の取り組み 2月 1 包括支援センターと民生委員、介護支援専門員で本人等へカード作成の説明と支援をする。 2 本人や支援者の承諾を得て、自宅内の目立つ場所に『あんしんカード』を掲示することで、緊急時の対応に役立てる。
	認知症施策の推進	認知症の方が暮らしやすい地域を目指し共生と予防ができるように働きかけます。	オレンジカフェにチームオレンジを設置し、活動する。 地区団体に認知症介護に関するアンケートを実施し、地域課題を抽出し、課題解決に取り組む。 二中学校区の企業を中心に認知症サポーター養成講座を実施する。	年2回活動 12月・2月 アンケート実施 8月 抽出された課題の検討 10月 ヤクルト・郵便局 2カ所予定 10月
選択項目	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	地域における関係機関等との連携体制づくりや介護支援専門員との連携強化を進めます。	ケアマネ連絡会を開催し、地区のケアマネジャーとの連携、適切なマネジメントを支援する。	連絡会 年3回 7月 城西クリニックとの意見交換会 居宅介護支援事業所連絡会 9月 自立支援型地域ケア会議 居宅介護支援事業所連絡会 11月 事例検討会 居宅介護支援事業所連絡会
	センターの認知度を高めるための周知活動	幅広い世代や企業、施設等に高齢者支援や地域包括支援センターのPRを行います。	第二中学校の美術部に地域包括支援センターのPRポスターの作成を依頼し、地域の公共施設、商店等に掲示する。	掲示箇所15カ所 11月中旬 新規掲示場所（マクドナルド、ウエルシア薬局）
	高齢者虐待防止と成年後見制度の利用支援	高齢者が地域の中で自分らしい生き方ができるような支援体制を構築します。	権利擁護、成年後見制度普及のための地区社協で講座の実施する。	年一回10月 4つの地区社協（大津、御飯屋、第三、第四）代表者（1地区2～3名）を対象
	自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントの実施	介護支援専門員が利用者に対し、地域の活動場所への移行がしやすいようにします。	二中学校区の主任ケアマネ等を対象に地区団体の活動場所の案内をし、地区団体と連携しやすようにすることでケアマネジメントCの活用や自立に向けた支援ができるようにする。	地域の活動場所へ紹介 9月 居宅介護支援事業所 10事業所